



2022年3月期 第1四半期 決算説明資料

証券コード:6230

SANEI 株式会社

2021年8月10日

2022年3月期 第1四半期 トピックス

- コロナ禍の影響が継続する中、依然として衛生面に対する意識が高い状況が続いている。
- 生活関連用品の巣ごもり消費は前期に比べてやや鈍化傾向にある。
- 新設住宅着工戸数は2021年3月より4ヶ月連続で前年を上回っており、回復の兆しを見せている。
- 素材価格（銅相場等）の高騰が続いている。

前期1Q			前期2Q			前期3Q			前期4Q			当期1Q		
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6

コロナ第1波

4上～5下
緊急事態宣言の発令

◆在宅勤務者の増加

◆住宅展示場、ショールームの閉鎖

◆巣ごもり消費によるDIY需要増

◆学校・公共施設での水栓のレバー交換需要増

コロナ第2波

◆GoToキャンペーン開始

◆非接触型水栓への注目高まる

◆銅相場が上昇基調となる

◆寒波（凍結）により配管部材の需要増

コロナ第3波

1上～3中
緊急事態宣言の発令

◆新設住宅着工戸数は回復基調

◆巣ごもり消費がやや鈍化傾向

◆銅価格は引き続き高騰

コロナ第4波

4中～
緊急事態宣言の発令

国内の状況

業界の動向

経済・業界の概況

- ◆コロナ感染拡大は続いている。自粛疲れの影響もあり、消費者の動向は変化しつつある
- ◆新設住宅着工戸数は回復傾向
- ◆非接触型水栓の需要は続いている

売上

- ◆非接触型（自動水栓・レバー型）の需要は引き続き拡大
- ◆住宅着工戸数の回復により現場需要が増加
- ◆巣ごもり消費がやや鈍化傾向にあるが、高機能シャワーなどの新製品が好調
- ◆メーカールートの受注が増加

利益

- ◆銅相場等、素材価格が高騰しており、材料費が上昇
- ◆非接触型など高付加価値商品の販売が好調
- ◆生産性向上による原価低減

2 損益の概要

銅相場の高騰など材料価格の上昇が利益を圧迫したが、非接触型水栓などの高付加価値商品の拡販、新設住宅着工戸数の回復による売上拡大や生産性向上により増収増益を達成

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減	前年比
売上高	5,067	100.0%	5,587	100.0%	+519	+10.2%
売上総利益	1,656	32.7%	1,821	32.6%	+165	+11.2%
営業利益	259	5.1%	354	6.3%	+94	+36.5%
経常利益	269	5.3%	333	5.8%	+63	+23.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	181	3.6%	211	3.8%	+29	+16.2%

※2021年3月期第1四半期業績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

3

四半期業績の推移

(単位：百万円)

前期 2021年3月期	年間	前期1Q	前期2Q	前期3Q	前期4Q
売上高 (年間売上構成比)	22,182 100%	5,067 22.8%	5,292 23.9%	5,683 25.6%	6,140 27.7%
営業利益	1,612	259	390	429	534
経常利益	1,593	269	387	409	528
四半期純利益	1,000	181	276	197	346

↓

当期 2022年3月期	年間 (業績予想)	当期1Q
売上高 (年間売上構成比)	23,200 100%	5,587 24.1%
営業利益	1,650	354
経常利益	1,630	333
四半期純利益	1,100	211

※2021年3月期第1四半期業績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

4

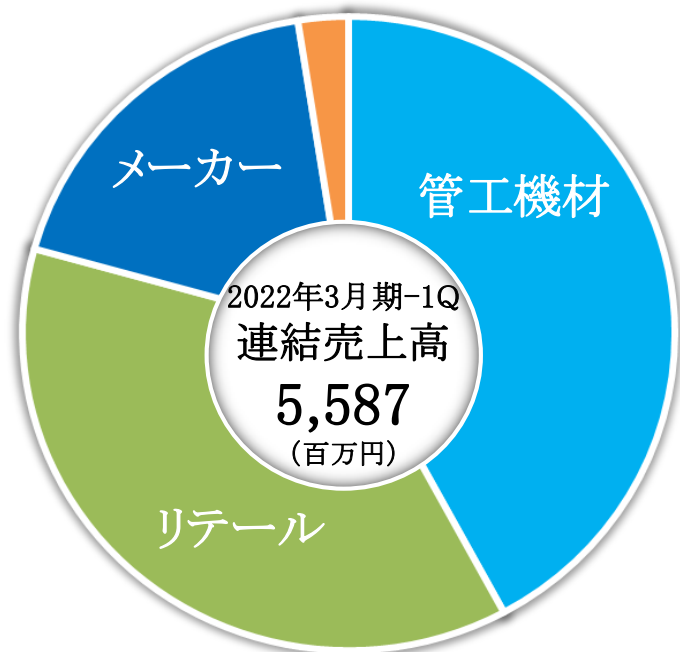
販売ルート別の動向

管工機材：新設住宅着工戸数の回復に加え、展示会等の販促活動は徐々に再開。非接触水栓などの提案が引き続き好調。

リテール：巣ごもり商品はやや鈍化傾向にあるが、E C市場や高機能シャワーなどの新製品の販売が好調。

メーカー：新設住宅着工戸数の回復に加え、住宅設備メーカーからの受注も増加。

2022年3月期 第1四半期
の売上構成



参考：売上高構成比の推移

	前々期 年間	前期 年間	当期 1 Q
■ 管工機材 ルート	↓	↑	→
■ リテール ルート	→	↑	→
■ メーカー ルート	↑	↓	↑

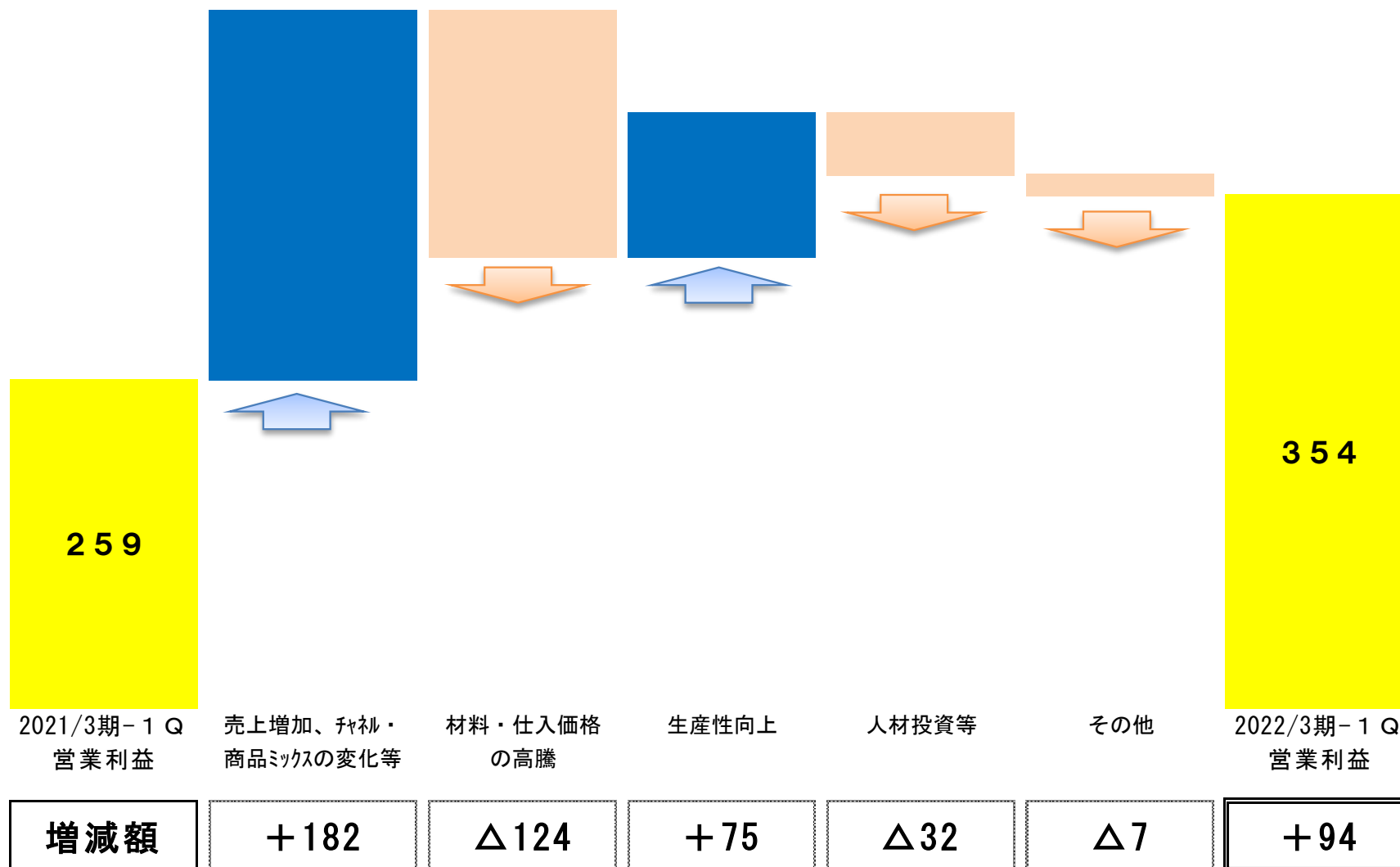
- ↑ 構成比が前期より上昇
- 構成比が前期とほぼ横バイ
- ↓ 構成比が前期より下降

※ 2020年3月期第1四半期および2021年3月期第1四半期業績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

5

営業利益の増減要因

営業利益の増減要因(前年差異+94百万円の内訳)



損益の概要(まとめ)

(単位：百万円)

	2021年3月期		2022年3月期			
	1Q	構成比	1Q	構成比	増減	前年比
売上高	5,067	100.0%	5,587	100.0%	+519	+10.2%
売上総利益	1,656	32.7%	1,821	32.6%	+165	+11.2%
営業利益	259	5.1%	354	6.3%	+94	+36.5%
経常利益	269	5.3%	333	5.8%	+63	+23.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	181	3.6%	211	3.8%	+29	+16.2%

- ・非接触型水栓など高付加価値商品の拡販
- ・新設住宅着工戸数の回復による受注増加
- ・巣ごもり消費はやや鈍化傾向にあるが、高機能シャワーなどの新製品が好調

- ・素材価格(銅相場)高騰による材料費増加
- ・生産性向上の取り組み
- ・人材投資等による費用の増加

- 営業外収益・費用
- ・前期は補助金収入を計上
- ・為替差損を計上

- 特別利益・損失
- ・固定資産除却損を計上

連結BS(資産・負債・純資産)

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年3月期 第1四半期			
	金額	金額	増減	前年比	主な増減要因
資産	19,459	19,589	+130	+0.6%	主に流動資産が増加。固定資産は横ばい。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 売上債権 $\Delta 561$ ■ 棚卸資産 +721
負債	8,959	8,927	$\Delta 31$	$\Delta 0.4\%$	負債総額は横ばい。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 仕入債務 +583 ■ 未払税金等 $\Delta 460$ ■ 賞与引当金 $\Delta 171$
純資産	10,500	10,662	+161	+1.5%	<ul style="list-style-type: none"> ■ 配当の支払額 $\Delta 103$ ■ 四半期純利益 +211

「ALWAYS WITH JOY」

SANEI

SANEI 株式会社

<https://www.sanei.ltd/>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。